



コミセンレポ — コミセン、和白5校区などの注目情報です —

わじろ映画館／ピラティスダイエット教室 年末年始もコミセンわじろで！

クリスマス＆初感動！わじろ映画館

まずは子どもなら100円、大人も500円で観れるクリスマス上映。今年は12/24のイブに行います。作品は2018年に公開になった話題作『グリーンチ』。ジム・キャリー主演で実写映画化もされた、名作絵本に登場するアメリカの国民的キャラクター「グリーンチ」。幼い頃は愛らしかったのに、成長してひねくれてしまいます。洞窟で暮らす彼は、愛犬マックスの献身的な愛にもぶっきらぼうに対応し、山麓の村人たちに意地悪ばかりします。いつも不機嫌で孤独なグリーンチは、「クリスマス」を盗んでしまおうと思いつくが……。

最後まで目が離せません。

そしてお正月は、これも超話題作で2018年公開の『万引き家族』。是枝裕和監督の、家族を描いた作品の最高峰です。カンヌで最高賞を受賞するなど、現在も世界中で評価を受けています。実際にあったある家族の話を元に、是枝監督が10年構想を温めてつくった傑作。タイトルのインパクトも相当強いですが、リリー・フランキー、安藤サクラと話題の俳優陣に加え、樹木希林の演技も遺された見逃せない作品となっています。年明けに、初感動をどうぞ。



▲ ゆったりした雰囲気で見映。



▲ 指定席なので良いお席はお早めに。

「グリーンチ」(2018年公開)

日時: 2019年12月24日(火) ①10:00～11:30 / ②13:30～15:00 ※開場は上映の30分前

料金: 大人500円 / 子ども(小学生まで)100円

「万引き家族」(2018年公開)

日時: 2020年1月4日(土) 13:30～15:30 ※開場は上映の30分前 料金: 1,000円

より美しく！新年に誓ってワークアウト！ピラティスダイエット教室

昨年好評だったピラティスダイエット教室が、新年早々に帰ってきます。もちろん今回も託児付き(有料)、また今回から女性であれば誰でも参加可能になります。講師はたがわりさ先生。たがわさんは

昨年末より、ミスユニバース福岡代表を選出する「2020ベストオブミス福岡大会」ファイナリストのボディワーク指導を担当することに。凄いですよね。指導を受けて、健康に美しくなりましょう！



▲ ピラティスダイエット教室の様子。

ピラティスダイエット教室

開催日: 2020年1月10日(金)、17日(金)、24日(金)、31日(金)

《午前の部》10:00～11:30(受付9:45～) 《午後の部》13:00～14:30(受付12:45～)

定員: 各回15名(先着順) 料金: 1回券1,300円、フリー券3,800円(4回受講可能)

託児: 1人につき1回500円 ※料金は変更の可能性もあります



公式HP facebook

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

wajico ^[ワジコ] vol. 27 2019 Winter

pick
up

わじろじまん 干潟の宝「クロツラヘラサギ」

わじろ元気印 良い音楽を地域へ「福岡工業大学吹奏楽団」



地域  文化

わじろじまん

— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介します —

クロツラヘラサギ **干潟の宝**

クロツラヘラサギ。その名前を、東区に住んでいるなら聞いたことがあるはず。毎年、越冬のため多々良川や和白干潟を訪れる渡り鳥として市民に大変親しまれている存在ですが、一時期には世界中でも数百羽まで数を減らした、絶滅危惧種でもありました。今回は和白干潟に飛来するこの貴重な鳥を紹介します。

アジアを渡る、貴重な渡り鳥

日本だけでなく世界的にも大変貴重な和白干潟の自然。ここに5～20羽が飛んでくるクロツラヘラサギは、絶滅危惧種であるとともに、福岡に残された貴重な自然を象徴する存在として、これまで多くのメディアなどでも紹介されています。全長約75cm、体重約1.5kg～2.2kgぐらいが一般的な大きさ。干潟では特徴のある黒いヘラ状のくちばしを、左右にふりながら食事をします。主なえさは魚類(ボラ、ハゼなど)や甲殻類(カニ、エビなど)だそうです。

4月中旬～7月中旬までが次の世代を残す時期で、朝鮮半島沿岸や中国遼東半島沿岸の岩が多い無人島で繁殖します。その後、繁殖地の近くの干潟で過ごしたのち、10月下旬頃から越冬地への渡りを開始します。主な越冬地は台湾、香港、ベトナム、中国沿岸部、日本などで、日本では主に九州以南で越冬し、近年は毎年約500羽が越冬しているそうです。特に福岡や熊本には、毎年クロツラヘラサギたちがやってきます。そして3月下旬ごろまで越冬地で過ごした後、4月初旬頃から繁殖地へ再び戻ります。



▲ 名前の通り黒い顔とクチバシが特徴。



▲ 和白干潟。多々良川と並んで、クロツラヘラサギが中継や越冬のために過ごす場所。他にも多くの野鳥が訪れる貴重な自然環境を保っている。

人々の努力が、未来の鳥たちを救う

冬から翌春にかけては、クロツラヘラサギに代表される美しい渡り鳥の姿を観察したい人や、撮影してカメラに収めたい人たちが、和白干潟を多く訪れます。クロツラヘラサギの近況や、バードウォッチングについて。飛来する鳥たちへの想いも含めて、日本クロツラヘラサギネットワークの松本悟さんにお話を伺いました。

「一時は本当に3桁まで数を減らしたクロツラヘラサギですが、繁殖地の韓国や越冬地の台湾で、自然保護、観光資源としての観点で、国を挙げて多くの方々が努力した結果、その数が回復しています。2019年には世界中で4500近い羽数が確認されています。現在は東アジアの飛来地の野鳥保護関係者などとの情報のやりとりや交流が盛んになり、クロツラヘラサギがつなぐネットワークが確立してい



▲ クロツラヘラサギの観察の様子。

ます。」

世界レベルでもその貴重さが知られ、福岡市民にも知られる存在となったクロツラヘラサギ。越冬地である博多湾の自然はとても重要です。特に彼らが過ごす多々良川河口、そして和白干潟のような自然は貴重であり、この地の恵みを誇るとともに大切にしたいと松本さんは語ります。

「干潟の自然観察会でも、クロツラヘラサギは子どもたちにとっても人気があるんです。長いくちばしでエサをとる独特の動きがユーモラスでかわいいんです。この鳥の魅力や存在を知ること、和白干潟の環境の大切さや、渡り鳥のこと、カニなどの他の多くの生き物たちのことを知って欲しいですね。」



▲ 和白干潟のMAP



この方に聞きました！

松本 悟さん

日本クロツラヘラサギネットワーク

地域  団体

わじろ元気印

— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

福岡工業大学吹奏楽団 **良い音楽を地域へ**

昭和38年創部。平成30年度全日本アンサンブルコンテスト金賞受賞、令和元年度全日本吹奏楽コンクール銀賞受賞という全国トップクラスの実力を誇る福岡工業大学吹奏楽団。国際的な式典や大会のための演奏、また母校でのクリスマスコンサート出演など、音楽での社会貢献活動も行っています。常任指揮者の松井裕子先生とリーダーのみなさんに、活動についてお話をお聞きました。

Q 楽団について教えてください。

現在は学生メンバー 51名で活動しています。団の中には総務や経理という部署が明確にあり、学生が自分たちで責任を持って担当し、部を運営しています。入部に関しては、メンバーそれぞれが以前から音楽、吹奏楽に関わっており、既に実績がある楽団に憧れて入ってきた人も多いです。(主将・住吉佑太さん)

Q 現在の活動について教えてください。

日々の練習も、単に厳しいなあというのではなく、大学生らしく自主的に行なっている部分もあり、主体的に目標に向かって音を創っていく感じです。高校生の頃の基本レベルと違って、教えてもらえる技術も格段に上がる。普段の努力

が良い結果を生んだときは、とても嬉しいです。(住吉さん)

団員は基本は既にできる状態で入団してきます。プロも唸らせる実力も才能もあると思います。そのレベルまで妥協しない姿勢でやっています。大学生は、一つの曲を深くまで掘り下げて研究する時間がたくさん取れるので、本当に良い音楽ができるはずなんです。そこまで一緒に追求して行きたいと考えています。(松井先生)

Q 最後に地域のみなさんとの交流を教えてください。

近年は春の「わじろで第九を歌おう」のみなさんとのジョイントコンサートも

やっています。地域のエネルギッシュなみなさんと、さまざまな地域出身学生が交流できるのは大変ありがたいです。また何かやりたいですね。(松井先生)

12/21(土)に開催されるマルタさんとのX'masコンサートにも、地域の方々がたくさん来ていただいています。来年に定期演奏会も2/16(日)に控えていますし、地域のみなさんに聴いてもらえる機会を増やしていきたいですね。(住吉さん)

この方たちに聞きました！

福岡工業大学
吹奏楽団松井先生と
リーダーのみなさん

▲ 練習風景。この秋も、全国コンクールを控えており、調整に余念がない。



応援課だより

— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

美和台花壇づくり **コミセンわじろ前で本格始動！**

みなさんに親しまれているJR福工大前駅の広いロータリーを、市民のための新しい花壇にする計画も着々と進んでいます。10月から地域ボランティア約15名が集まり、肥料を入れる土壌改良の作業が行われました。スコップや鍬を使っての雑草取りや、土と肥料をかき混ぜ空気を含ませる作業は、やってみると重労働

でした。畑仕事をしている方が元な理由がわかりました。地域 みんなで力を合わせ1時間ほどで終了です。

春に開花する花などを植える予定があるそうですが、どんな鮮やかなロータリー花壇ができるのか待ち遠しいです。ロータリーを通るときは花壇をチェック！

ご相談やお問合せはコチラまで

 ☎ 092-608-8480
 ✉ support@wajiro.info


▲ 地域の方と一緒に土づくり。